

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本国憲法 (Constitution of Japan)		
ナンバリングコード	A20601 B20407	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期・後期(経営経済学部のみ)
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A023801	クラス名	-
担当教員名	大西 貴之		
履修上の注意、履修条件	履修条件はありません。		
教科書	初宿正典ほか『目で見る憲法[第5版]』(有斐閣)		
参考文献及び指定図書	初宿正典ほか『いちばんやさしい憲法入門[第5版]』(有斐閣) 毛利透『グラフィック憲法入門[補訂版]』(新世社)		
関連科目	法学のその他の科目		

○基本情報	
授業の目的	本講義は日本国憲法について学ぶ科目です。憲法は、国のあり方の基本を定める最高法規であり、多様な価値観をもつ人々が社会で共存するための最低限のルールです。その具体的な意味内容は、規定された文言に基づいて、これまでの様々な人々の解釈を通して形づくられてきたものです。過去にどのような社会問題を前にして憲法がどのように解釈されてきたかを学び知ることが、現在を生きる私たちが人権や統治に関する目の前の問題を前にしてどのように憲法を解釈するべきかを見出すきっかけになるはずで。本講義では、過去の判例や現在生じている問題を素材にしながら、具体的局面において基本的人権やその他の憲法上の原理や制度がどのような意味を持つのかについて一緒に学びます。
授業の概要	本講義は日本国憲法の基本的な考え方や原理について概説します。まずは憲法の基礎について学び、続いて基本的人権分野と統治機構分野に取り組みます。毎回テーマに合わせたレジュメを配布し、講義はレジュメと教科書を併用して進めます。講義では、専門的な用語や概念が用いることがありますが、イメージをつかみやすくするために平易な言葉や身近な具体例をできるだけ用いるよう心がけます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「該当なし」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会における憲法の重要性を理解し、身近な人権問題やその他憲法問題に関心を持つようになること		15点	
【知識・理解】	法(特に憲法)についての基本的な考え方や原理を理解すること	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	憲法学上の専門的な用語や言い回しについて正確に説明できるようになること	25点		
【思考・判断・創造】	現実の具体的な問題に対して講義で学んだことを応用・実践できるようになること	25点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
到達度確認テストは70点満点(空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題)。提出物には①コメントシート(15点満点)と②授業内容理解を確認する必修課題(15点満点)があります。コメントや課題へのフィードバックは、次回以降の授業にて行います。

○その他
教員免許を取得するためには必修です。

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	日本国憲法 (Constitution of Japan) 大西 貴之	授業コード	A023801
学修内容				
1. 憲法とは？ ガイダンス、法とは何か、憲法における基本的な考え方				
予習	指定された教科書のなかで興味のある部分を読んでおくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメには内容確認のための問題を付しているの、復習に利用すること			(約2.0h)
2. 日本国憲法の基礎 日本国憲法の基本的特質、基本的人権の体系、人権制約の根拠				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
3. 信教の自由 信教の自由とその限界、政教分離原則				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
4. 表現の自由 「知る権利」、表現の自由の「価値」、表現を規制することの意味				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
5. 職業選択の自由 営業の自由、営業規制の様々な類型				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
6. 生存権 生存権の法的性格、生存権を具体化する様々な立法				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
7. 教育を受ける権利 学習権と国の責務、教育権の所在				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
8. プライバシー権 憲法13条の意義、プライバシーの定義、情報プライバシー権				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	日本国憲法 (Constitution of Japan) 大西 貴之	授業コード	A023801
学修内容				
9. 法の下での平等 平等の観念、性差別をめぐる問題、同性婚訴訟				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
10. 参政権 選挙権の法的性格、選挙制度、議員定数不均衡訴訟				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
11. 国会 統治機構の基本原則、国会の地位、国会と議院の権能				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
12. 内閣 行政権の定義、議院内閣制の諸類型、内閣総理大臣の権能				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
13. 裁判所 裁判所の構成と権能、司法権の独立、司法権の限界				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
14. 地方自治 地方自治の本旨、地方公共団体の機関、条例の制定				
予習	各回の講義終了時に教科書の次回該当部分を指示するので、予習として講読しておくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
15. まとめ 到達度確認テスト、これまでの振り返り				
予習	これまでの講義14回分の内容確認の問題に改めて取り組んでおくこと			(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと			(約2.0h)
16.				
予習				
復習				